

NHK が当社開発の小型遠隔除染装置を取材 3月3日にEテレの番組『サイエンスZERO』で紹介

当社が開発を進めている小型遠隔除染装置が、NHKの取材を受けました。取材は2013年2月8日に行われ、3月3日の23:30～24:00に「密着！福島第一原発 知られざる廃炉への道」と題して、NHK Eテレ（旧教育テレビ）の『サイエンスZERO』で放送され、当社への取材内容が紹介されました。取材は、昨年9月の“日本原子力学会2012年秋の大会”での論文発表をきっかけに実現したものです。

この装置は、福島第一原子力発電所の原子炉建屋内の床面の汚染除去を遠隔で行い、作業員の被ばくを低減するために開発しました。遠隔操作により建屋内床面の狭隘部も含めて、高圧水洗浄と水エジェクタによる廃液の吸引回収を行うことで、作業員が高線量環境下の建屋内に入ることなく汚染を除去することが可能となります。

番組は、事故から2年、廃炉に向けた作業に大勢の作業員が奮闘しており、ガレキの撤去作業や建屋内部の調査など過酷な現場状況に密着して、作業の内実に迫っています。番組の最後で建屋床面の汚染除去の必要性が説明され、アトックス開発の小型遠隔除染装置が取りあげられました。

そこでは、小型遠隔除染装置の開発の経緯、目的、開発目標や開発途中に発生した様々な課題の解決策などを、装置を実際に動かして作業している映像が、開発担当者の伊藤主任へのインタビューも交えて紹介されました。最後に藤川技術開発センター長へのインタビューがあり、この装置を現場の実際の作業に即してさらに改良・高度化していき、廃止措置の諸作業に役立てたいとのコメントで締めくくられました。



小型遠隔除染装置の走行状況の取材



高圧水洗浄・廃水吸引回収機構の説明